

平成24年度第2回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 平成24年12月14日（金）  
午後2時から午後3時35分まで
- 2 場 所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 （委 員） 川 津 敏 子 海 保 孝 則  
島 崎 喜 明 竹 内 比 呂 也  
本 吉 貞 夫 森 山 薫  
湯 目 千 津  
中央図書館長 葉 山 龍 次 郎  
西部図書館長 江 澤 義 夫  
東部図書館長 河 野 明 美  
他 9 名  
（傍 聴 者） なし

4 議 題

(1) 報告事項

- 報告1 平成24年度千葉県立図書館運営状況について  
報告2 新図書館電算システムについて  
報告3 その他

(2) 協議事項

- 協議1 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（素案）について  
協議2 その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

<会議録>

議 長

それでは議事に入らせていただきます。

本日は、報告事項2件と協議事項が1件となっております。

報告1 平成24年度千葉県立図書館運営状況について報告願います。

事務局

平成24年度千葉県立図書館運営状況について（資料1）に基づき報告。

議 長

ただ今の説明につきまして御質問・御意見がありましたらお願いします。

委 員

特別支援学校を代表して申し上げます。修学旅行の前に行き先などについて子どもたちに調べさせたりしております。

本校は、肢体不自由の学校ですので、中央図書館が宅配便で送ってくれるこのような取り組みについては、非常にありがたく思っております。また、一層進めていただけるとありがたいです。

事務局

学校の図書館関係の会議などに職員が出席し、要望を伺ったりあるいは事業のPRをさせていただいております。今後、一層力を入れていきたいと考

えております。

議長 図書館サービス目標の社会変化に対応した図書館サービスの推進の来館者満足度がかなり良くなっていますが、どのような理由が考えられますか。

事務局 評価の内訳が6項目あり、大きく分けてレファレンス関係、職員対応関係、コンピュータの使い勝手等がありますが、職員対応は比較的よくなっており、中には苦情等もありますが、その場合には情報の共有化を図り、西部・東部などと対応がバラバラにならないように気を付けております。

議長 利用者にとって図書館のサービス向上となれば大変良いことだと思います。

委員 9ページの電算業務(横断検索参加自治体及び施設一覧)の中で市町村の参加が33市4町1大学で参加していただけない市町村があります。また、1大学というのは千葉大学だと思いますが、千葉県内に大学は40以上あると思います。大学の持っている情報はかなりあるので、うまく使えないでしょうか。

事務局 県内にはホームページを公開していない未設置市町村がございます。そこが所蔵情報を公開していないと私たちもその情報を得ることができません。図書館を設置している自治体ではすべてできるようになっています。

また、県内の大学図書館について、現在は千葉大学のみですが今回のシステムの変更に伴い横断検索できる中に全国の大学図書館の蔵書検索ができるシステムがあります。そのサイトをクリックすれば大学の蔵書の検索ができるように改良したところです。

議長 報告事項2 「新電算システム」について報告願います。

事務局 「新電算システム」について報告

議長 ただ今の説明について、御質問・御意見がありましたらお願いします。

特にないようでしたら次の「その他」報告事項として事務局から何かありますか。

事務局 ありません。

議長 それでは報告事項は終了いたします。

続きまして協議事項に入らせていただきます。

協議事項1 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画(素案)について説明願います。

事務局 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画(素案)について(資料2)に基づき説明。

議長 平成23年度教育委員会「千葉県立図書館の今後の在り方」を受けまして具体的な行動計画として平成25年から平成29年までの5年間ということと素案として出されたわけですけれども、行動計画の評価と検証のところと3年後の達成目標となっていますが、毎年達成目標を示さなかったというのはどういうことでしょうか。

それと、評価と検証とありますがどのような組織の中で、検証を行っていくのでしょうか。

事務局 このような中期的目標となると、まず3年ないし5年後というかたちにな

ると考えております。毎年の数値については経過報告として公表していきたいと考えております。

なお、5年にしなかった理由は、中央図書館自体に改修工事の計画があります関係で、サービスが今後どうなっていくのか不確かな部分もありますので3年とさせていただきます。

毎年、どういう行動をしていくのかということを検証していこうと考えております。まずは職員の中で、ワーキングチーム等により自己評価をし、その後、図書館協議会で提案をさせていただいて、外部評価をいただくという形にしたいと考えています。

議 長

立派な行動計画ですので計画に沿ってお願いします。

それでは委員の皆様の御質問、御意見がありましたらお願いします。

委 員

6つのアクションはすべて同じレベルでこれが特に重点ということは考えないということですか。

事務局

6つを優先順位をつけないで考えております。

委 員

全体を通して本来の県立図書館が担うべき役割として網羅されているのではないかと受け止めさせていただきました。やはりこの中でどんなところをこれから中心にやっていくのか、見えてこないような気がします。行動計画の大きな柱が出てきていいのではないかと感じました。

事務局

在り方の全般を通して多数ある中の6項目に絞り込んだというところです。

議 長

どれが重点項目というわけではなく、絞りに絞ってすべて重点項目というお考えですね。

他に御質問・御意見はありますか。

委 員

市町村立図書館充実のための支援強化で現状と課題とありますが、例えば資料搬送ネットワークの維持・改善のところでは3館の連絡便が週2回ということに対して巡回が少ないということが課題になっていますが、課題としては少ないということよりも、少ないがゆえにどういう問題が生じているのかというのが課題でそれをどのように解決していくのかが行動計画なのではないかと思えます。

事務局

予算の関係もあり、資料の購入については3館で重複しないように購入している中で、一冊の本を県立間で利用していただくためには、より早く、より迅速にということになります。それがバックヤードの考え方となっております。現在、火曜日と木曜日の週2便となっております、これを増やすことによってより早く資料が提供でき、このような体制作りを進めているということでこのような表現にしました。

委 員

数値目標として挙げているというのは、これは毎年続けていくということで、今年も行われている数値目標ですね。今まで行動計画がない状況で数値目標をどう出そうかと検討していると思いますが、今回はかなり細かい行動計画が出てくると、細かいことに則した数値目標になってくるのではないかという気がします。

たとえば、今の週2回の巡回で少ないとあれば、数値目標としては、利用

者の方に待っていただいている日数を具体的に短縮できたとかそういう話になってくるのではないかと思います。

事務局 量的な数値という考え方と質的な数値の考え方があると思っております。量的だと貸出冊数ですが、どれくらい待っていただいたかということと満足度ということで利用者に対して資料が実際提供できましたかというアンケート調査、利用者満足度の中で評価できていくものと考えております。全般の図書館の運営のことになりますけれども、そこでお示ししていくようなことになると思っております。

委員 ちょっとそれには異論がありますけれども、そういうお考えでおやりになるということについてはこれ以上申し上げることはありません。

議長 他に何かありますか。

委員 未来を担う子どもの読書活動の推進の中の「家庭における読書活動の推進」の項目で、学校や公民館、保育園等で読み聞かせのボランティアをしている方を対象とした、子どもの本の読み聞かせ講座を毎年県内2市町村で開催しているということが載っていますが、参加した方が図書館ボランティアの育成者数280人という形で出ているのでしょうか。講座を受けた人が、即ボランティアとして活動できているか、というところまではいかないと思います。講座を開催したから養成ができたということにはならないと思います。

もう一点高齢者・障害者サービスの高齢者サービスの開発の項目で、平成24年度中にシニア向け講座を開催するとありますが具体的にシニア向けとはどんなことでしょうか。

事務局 ボランティアの育成件数というのは子ども読書関係だけではなくて、音訳ボランティアつまり目の不自由な方の本を読んで差し上げる朗読のボランティアも含んでおります。そのボランティアが活動をしたかどうかというのはなかなか把握しづらい状況となっております。それについては、研修会等に参加した方の御意見をいただく中で今後検討、調査をしていかなければならないかと思います。そのためのプログラムの修正、初級編中級編等、視野に入れていかなければと考えております。

事務局 2点目のシニア向け講座の件ですが、今年度2月に実施を予定しております。

東部図書館では今年の2月からシニア支援コーナーを入口近くに設けまして、関心を惹くようなテーマで棚づくりをしております。その一環として、自分の健康だとか病気になった時に病気や治療法を知ることの大切さについてシニア向け講座ということをあまり前面に出さず広く参加していただくような講座を開催する予定でおります。

東部図書館のある旭市には旭中央病院があります。ここの患者図書室は全国的にも非常にいい活動をしているということで注目をされているところです。患者さんが自分で自分の病気のことや治療法について疑問を持たれたときに、看護師の資格を持たれた方が、相談にも乗ってくれるし、自分に必要な本も探してくれます。自分で本を読んで知ることでもできるし相談をするこ

ともできるということで利用率も高くなっているそうです。そこで担当の方を講師にお願いしているところです。

結果的に、参加される方がほとんどシニアだということが確認できましたら、シニア向け講座ということを前面に出して、来年度から企画していきたいと考えております。

議長 他にありますか。

委員 県立図書館のレファレンスはとても良いという声をききました。

議長 いい声ですね。大変ありがたい声ですね。

委員 他にありますか。

病院の図書室ということで院内学級の図書室があります。ただ見てますと医療関係の本は多いですが、一般図書は少ないという状況です。

地域の公立図書館との連携が今全くない状況です。地域の図書館と病院の施設との連携ができればかなり違うのではないかと。例えば高齢者にしても入院している方に、何らかの形で本を提供し本を読む機会を提供することができるシステムができると良いです。できれば千葉県が先がけになっていただくといいです。

議長 そういった可能性についてはどうでしょうか。

事務局 高齢者サービスということではなくて、入院されている為、図書館利用に障害がある方へのサービスという中に含んでいます。視覚障害者に対するサービスが公共図書館の場合主になっておりますけれども、浦安の図書館のように、市内の病院に職員が出向いて、直接貸出しをするといった試みをやっているところもございます。その試みをどうやって県内の図書館に普及させていくか、県立図書館の研修会の中でのテーマとして普及を図っていければと考えております。

2年前に西部図書館では、医療関係の資料が多いということで、県内市町村図書館員向けの研修会の一テーマといたしまして、病院関係の図書館に関する雑誌を作っている方をお呼びいたしまして、「病院の図書館との連携」ということをテーマに市町村向けの研修会を行いました。

委員 入院されている方々が、そういった利用もできるということを知らないし、どうやればいいのかということも知らない状況なのかなと思います。知られていないことが多くもったいないと感じます。

図書館まで行かれないという人が多いので、コンピュータの端末が1台病院にあって、本の検索や貸出しに使えると良いと思います。

議長 難しい部分もあるかもしれません。また、検討できればと思います。

委員 施設の改修の関係で、現状どのような部分をどのように改修していくのか、実際運営されている側の素案といったものがあるのか、ということと、耐震改修を含めた大規模な工事になるようだけれども、その期間、休館になるのかそれとも部分的に県立図書館としての機能を残しながら改修していくのか、その点について現状で何かお話していただければ教えていただければと思います。

議 長 中央図書館のことですね。来年・再来年度で基本設計、実施設計で、27年、28年、29年ぐらいで改修完了、そしてリニューアルという予定ですね。

事務局 24年度から29年度までの長期期間ですが、教育機関の施設改修工事の中では県立高等学校の耐震化工事が最優先となります。中央図書館は、耐震構造になっておりませんので、まず耐震補強の方針を出すとともに、書庫が狭隘化しておりますので、自動化書庫、強度補強、エレベーター設置、新たな設置費用等ありますが、県全体としての予算もございますので、今年度は耐震補強をした場合の工事がどれくらいかかるか、自動書庫を設置した場合どれくらい費用がかかるか等調査して、来年度の基本設計、再来年度の実施設計という予定になっております。

委 員 耐震診断は当然既にやられているわけですね。その上でIS値などが出た関係で補強していくことになったのですね。

事務局 竣工後44年程経っておりますので、最終的に図書館としてどうやって高めていくか大きな問題ですが、どこまで進められるか分かりませんが、とりあえず骨太の方針を出して調査するという事です。

議 長 大事なことだと思います。大々的でないにしてもサービス機関のひとつであるわけですから、県民の意見なども参考にすることも必要ではないかと思えます。

事務局 骨太の方針が決まった後に、しかるべき時期に利用者の皆さん等の意見を聞いて取りまとめていきたいと考えます。

議 長 時期を見てということですね。よろしくをお願いします。

特になければ、本日は行動計画（素案）という形で委員の皆様にお示ししましたが、委員の皆様方の御意見・御提言を踏まえて、次回の協議会で行動計画（案）としてお諮りさせていただくということでよろしいでしょうか。

委 員 異議なし

議 長 協議事項2「その他」について、事務局何かありますか。

事務局 特にありません。

議 長 その他、特にないようでしたら以上で終了致します。議事の進行にご協力ありがとうございました。

以上で、平成24年度第2回千葉県図書館協議会を終了した。